

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 3月 3日 更新

事務事業名	子どもフェスティバル開催支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名	岐部則夫
体系	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	生涯学習課	担当者名	斉藤 明子
	施策の柱	58	地域における子育て支援		所属班	生涯学習班	(内線)	1515
予算科目	会計一般	款10	項5	目1	事業連番10595	根拠法令	合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱	
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 ~ 27 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		
							成果優先度評価結果	: ⑩
							コスト削減優先度評価結果	: ⑥

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	①子どもフェスティバル実行委員会への補助金の交付 ②子どもフェスティバル実行委員会において、事務局として開催支援を行う。 平成14年度に旧合志町の子どもたちを対象に、大きな祭りを開催することになったことが始まりである。 合併前は旧合志町の子どもが対象であったが、合併後旧西合志町の子どもたちも対象になり、数は倍増した。 平成28年度より子ども会育成連絡協議会助成事業へ統合。
【業務の流れ】	①実行委員長からの事業計画承認申請書受理→補助金交付内示通知書交付→補助金交付申請書受理→補助金交付決定通知書交付→補助金概算払申請書・請求書受理→補助金の支払→事業実績報告書受理→補助金交付確定通知書交付→補助金の精算 ②大人実行委員会3回程度、子ども実行委員会7回程度、会計監査1回
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	平成20年度からは補助金額が約半分になり、事業を縮小せざるを得ない状況になっているが、なんとか以前の規模で実施したいとの意見もある。 また、来場者数が年々増えており、対応できるスタッフの許容範囲を超えてきているとの意見も出ている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	合志市子どもフェスティバル実行委員会に対して900千円の補助金を交付し、開催支援を行った。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 合志市子どもフェスティバル実行委員会に対して、900千円の補助金を交付予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ ア: 補助金額	イ:	子ども会育成連絡協議会助成事業 (10816) へ事業統合に伴う減額
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市内の子ども	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人
		→ ア: 子どもの人口 (4才~14才)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	地域で子供を見守っている。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件
		→ ア: 地域のボランティア数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~27年度
子ども自身による事業企画を支援し、より多く楽しめた参加者数を設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	千円	796	737	900	0				
	イ									
② 対象指標	ア	人	7,380	77,360	7,380	0				
	イ									
③ 成果指標	ア	件	1,800	1,850	1,600	0				
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	796	824	900	895			
		(A) 事業費計	千円	796	824	900	895			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	6	3	9	2			
延べ業務時間	時間	920	108	1,090	120					
(B) 人件費計	千円	3,665	430	4,342	445					
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,461	1,254	5,242	1,340					

事務事業名	子どもフェスティバル開催支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 第9回目となる次年度も、大人・子ども実行委員会、各団体と連携し事業を実施する。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果としては一定の水準に達していると思われる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 体への助成金は、市全体での見直しが必要であり、それに伴い金額が削減されることも考慮しなくてはならない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本事業に関しては必要最小限の人件費しか投入していない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 【前年度内容】 広く全市の子どもたちに参加の機会があり、公平であると思われる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 大人実行委員や子ども会等各団体の協力も得て実施しており、適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

本年度の反省箇所を踏まえ、次年度はより効率的に事業を運営したい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					